

米国株式型特別勘定 運用状況 (2009年9月末現在)

運用方針

- 主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- S&P500指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	7,688,141	97.6%
現預金・その他	186,523	2.4%
合計	7,874,664	100.0%

運用状況

2009年9月の米国株式市場はMSCI US(現地通貨ベース)で3.88%の上昇となりました。小売売上高や鉱工業生産指数が予想を上回り、GDPの約7割を占める個人消費も改善したことから、景気は底を打ったとの見方が広がりました。しかし、月後半は高値警戒感から上昇が一服する展開となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は、円高の進行により0.31%の上昇に留まりました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

9月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

10月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC US Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
426.42533935	+0.31%	+7.50%	+23.47%	▲14.60%	▲35.79%	▲15.95%	+326.43%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p18上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。